

事務事業名		再生可能エネルギー導入促進事業			☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業											
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目											
	施策名	05 地域環境の保全と共生					会計	款	項	目	事業							
	基本事業名	01 地球温暖化対策の推進			☐ 単年度のみ		01	02	01	06	21							
根拠法令					☒ 単年度繰返 (開始 平成25 年度～)													
所属	部課名	環境未来都市推進室			☐ 期間限定複数年度													
	課長名	志田 努			【計画期間】													
	係名		電話	0192-27-3111	年度 ～ 年度													
	担当者	鈴木 亨	内線	229	※全体計画欄の総投入量を記入													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の環境に対する意識の高揚及び再生可能エネルギーの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する場合に要する経費に対し、予算の範囲内で、補助金を交付する。 ○補助金額 ・キロワット単位の表示による太陽電池の最大出力合計値に3万円を乗じて得た額(10万円を限度) ○手続きの流れ ・市内の住宅に太陽光発電システムを設置する場合 補助金の申請→申請の受理→書類審査→交付決定通知→設置工事→設置完了→交付請求→補助金の交付 ・太陽光発電システムが設置された市内の建売住宅を購入する場合 補助金の申請→申請の受理→書類審査→交付決定通知→住宅購入→交付請求→補助金の交付 再生可能エネルギー関連会議等への出席。											総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金				
都道府県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源																		
事業費計 (A)											0							
正規職員従事人数																		
延べ業務時間																		
人件費計 (B)											0							
トータルコスト(A)+(B)											0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 住宅用太陽光発電システム設置補助金交付申請者へ補助金の交付。 再生可能エネルギー関連会議等への出席。					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称					単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。					ア 住宅用太陽光発電システム申請件数					件
					イ 再生可能エネルギー関連会議への出席回数					回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民					ウ					
					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 再生可能エネルギー暮らしに生かす。					カ 市の人口					人
					キ					
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 環境負荷の少ない循環型社会が構築される。					ク					
					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					サ 住宅用太陽光発電システム補助金交付件数					件
					シ 住宅用太陽光発電システム補助金交付額					千円
					ス					
(2) 総事業費・指標等の推移										
			単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円			16,726	10,011	10,011	10,011	
		事業費計 (A)	千円	0	0	16,726	10,011	10,011	10,011	
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間			1,000	700	700	700	
		人件費計 (B)	千円	0	0	4,000	2,800	2,800	2,800	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	20,726	12,811	12,811	12,811	
⑤活動指標		ア	件	—	—	181	100	100	100	
		イ	回			10	10	10	10	
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	—	—	38,871	38,871	38,871	38,871	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	件	—	—	172	100	100	100	
		シ	千円	—	—	16,701	10,000	10,000	10,000	
		ス								

事務事業ID	1597	事務事業名	再生可能エネルギー導入促進事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の環境に対する意識の高揚及び再生可能エネルギーの普及を図るため、平成25年度から住宅用太陽光発電システムを設置する場合に要する経費に対し、補助金を交付することとした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
被災者が住居を再建するタイミングと重なり、国・県の補助制度と並行して多くの申請があった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	1597	事務事業名	再生可能エネルギー導入促進事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 太陽光発電システムの低価格化が進むことで、今後も太陽光発電システムのニーズは増加すると考えられる。低価格化に伴い、自力での設置がよりしやすくなることから、市の補助額の見直しも必要になると思われる。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 補助額の設定については、国の制度が廃止され、県においても減額、対象者の範囲を狭めるなど、事業を縮小する傾向にあるため、情勢を見極め、他市とのバランスを考慮しながら判断する必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 企画政策部企画調整課長	(氏 名) 志田 努
-------	------------------------------------	---------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 市民の暮らしに再生可能エネルギーを生かしていただくためには、市のホームページや広報による周知に止まらず、高台移転や自力再建を考えている方々へのさらなる周知、また、既に設置した世帯のご協力のもとに、太陽光発電システム導入により電気料金の節減などについて広報掲載を考える必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 更なる広報の仕方について検討する。 今後の太陽光発電システムの価格動向を注視する必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○	●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
